



石巻港復興だより第27号 (石巻港湾ひばりの通信50号) —港湾は人の心も結んでいます—

第18回 港湾感謝祭が開催されました



開会式風景



関係企業の宣伝ブースなどで賑わう会場

石巻港の役割のPRと市民参加で港を活用した「まち」づくりを考える一助とすることを目的として毎年開催している「港湾感謝祭」(主催: 港湾感謝祭実行委員会)が令和元年9月21日(土)に石巻港大手ふ頭で開催され、多くの方々に御来場いただきました。今回は、ウェルカムフェスタ2019が同時開催され、日本クルーズ客船株式会社が運航する大型客船「ばしふいっくびいなす」(総トン数26,594 t, 全長183.4 m)が寄港しました。港湾感謝祭では各種グッズ・飲食物等の販売や石巻港関連企業・官公庁のブースが設けられ、麻葉探知犬によるデモンストレーション、石巻港クイズ大会、雄勝町伊達の黒船太鼓保存会による太鼓演奏等も行われました。また、国土交通省の港湾業務艇「ひより」での石巻港内の海上見学会も開催され、参加された小学生とその保護者の皆様に海上から港の構造や機能について理解を深めていただきました。当事務所では港に関するクイズコーナーを設置し、石巻港を広くPRしました。「ばしふいっくびいなす」入港時の歓迎イベントでは、大漁旗によるお出迎えや「女川潮騒太鼓轟会」の皆さんによる太鼓演奏、そして宮城県石巻高等学校の書道部による書道パフォーマンスが行われました。出港時のイベントでは「松島祭連竹谷舞」による雀踊りが披露され「ばしふいっくびいなす」は、花火が打ち上がる中、大船渡港へ向け出航しました。



当事務所ブースでクイズにトライする来場者



ばしふいっくびいなす入港時の様子

客船「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港



株式会社カーニバル・ジャパンが運航する客船「ダイヤモンド・プリンセス」(総トン数115,875 t, 全長290.0m)が2,800人以上の乗船客とともに令和元年7月28日(日)に仙台塩釜港石巻港区(雲雀野中央ふ頭)に今年2回目の寄港し,当日は,入港時の歓迎イベントとして大漁旗によるお出迎えや「おどっちゃ矢→もっと」の皆さんによるよさこい演舞が行われました。会場では,地元の物産販売コーナーや地酒振る舞いコーナーが設けられ乗船客の皆様にも宮城の味覚を堪能していただきました。また,乗客の皆様の利便を図るためWi-Fiや地元の観光施設を紹介した多言語の看板を設置し,多くの皆様に利用していただきました。そして,出港時のイベントでは伊達武将隊による演舞と古川学園高等学校吹奏楽による演奏の中,「ダイヤモンド・プリンセス」は,地元市町の風景写真やゆるキャラが描かれた特製うちわを掲げた大勢の人々に盛大に見送られ,函館港へ向け出航しました。

その他当港には,8月21日(水)に「オーシャンドリーム」が平成25年以来の寄港をし,歓迎イベントを行いました。また,9月10日(火)に予定していた「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港は残念ながら台風の影響によりキャンセルとなりました。

なお,来年のクルーズ船寄港予定は今後,県ウェブサイトでお知らせします。



物産販売コーナー

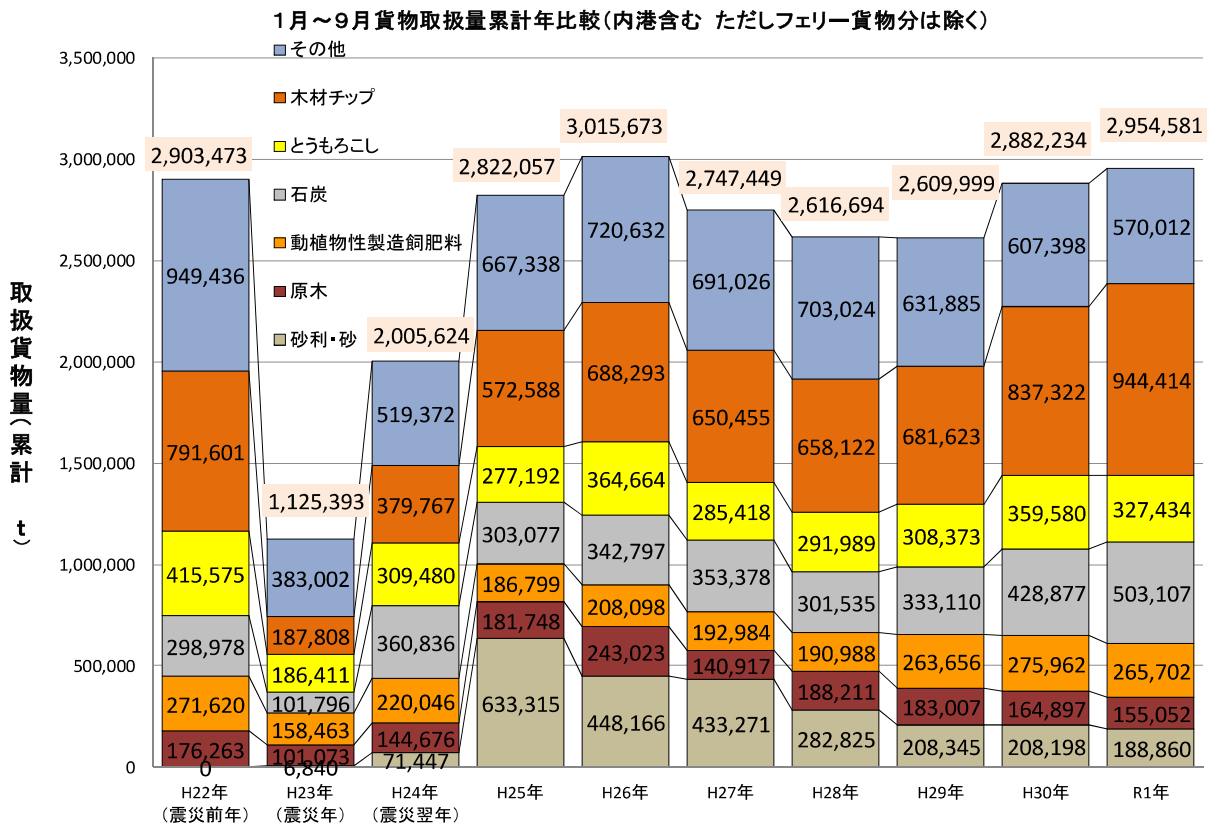


出航直後の「ダイヤモンド・プリンセス」

港湾取扱貨物量の推移

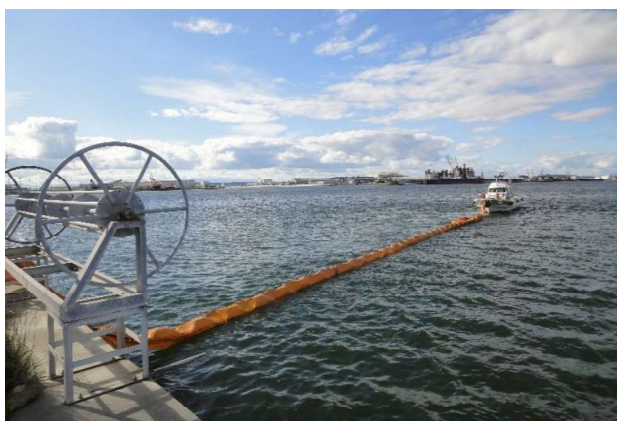
■ 1～9月累計貨物量は約295.5万トンの実績

平成31(2019)年1月から令和元(2019)年9月までの石巻港区の取扱貨物量は約295.5万トンで、震災前年である平成22(2010)年を超え、震災以降では平成26(2014)年に次ぐ貨物取扱量となっております。また、雲雀野地区のバイオマス混焼発電所が平成30年に本格稼働したことにより、「木材チップ」と「石炭」の取扱量が平成30年以降増加傾向にあることから、稼働前の平成29(2017)年と比較して「木材チップ」と「石炭」の取扱量が約43.3万トン増加しております。主な取扱の多い上位5品目は、木材チップ、石炭、とうもろこし、動植物性製造飼肥料、砂利・砂の順となっております。また、取扱量1位の木材チップの年次推移は、前述のとおり雲雀野地区のバイオマス混焼火力発電の本格稼働により、前年対比で約1.13倍の増加となりました。

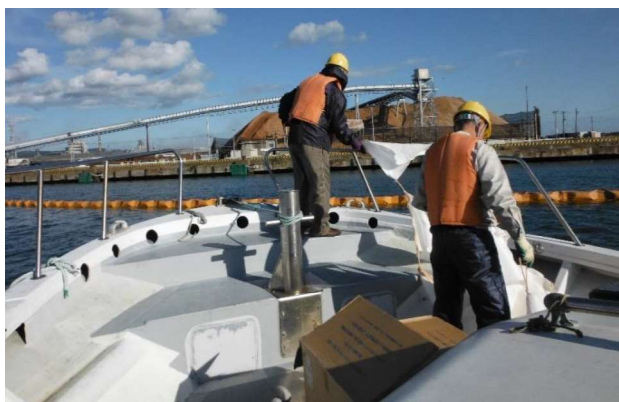


「油流出事故対応訓練」を実施

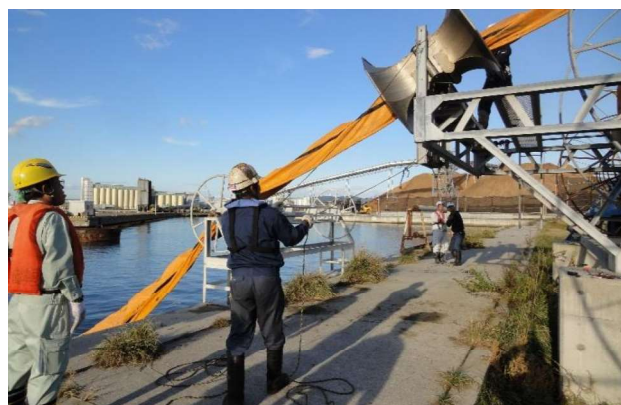
令和元年10月23日(水)，石巻港区内で油流出事故が発生した場合を想定した油流出事故対応訓練を，委託業者と合同で石巻港区南浜大型栈橋(巻取機周辺)にて実施しました。今回の訓練では，オイルフェンス巻取機の操作方法確認のほか，油吸着マットによる流出油回収方法の確認，無線機の使用方法の確認など油流出事故発生時の一連の作業手順を確認しながら実施しました。訓練を実施したことにより，オイルフェンスの展開にあたっての課題や日頃のメンテナンスの重要性を再確認することができました。オイルフェンスの出番がないに越したことはありませんが，今後も訓練を行い，事故発生時に迅速かつ円滑な対応ができるよう準備してまいります。



オイルフェンス展開作業の様子



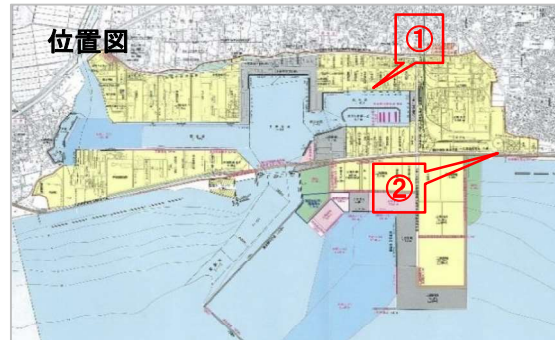
油吸着マット投入作業の様子



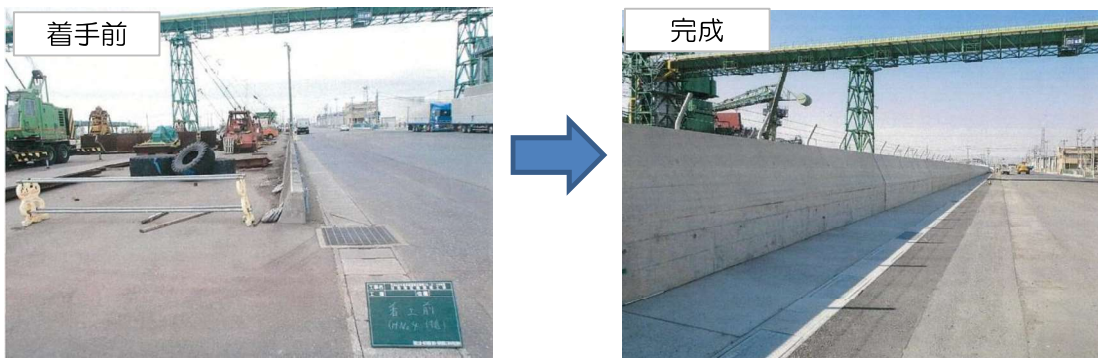
オイルフェンス巻取り作業の様子

石巻港 復旧・復興工事(防潮堤等)の状況(石巻港)

■ 平成30(2018)年度に完成した箇所(復興事業)

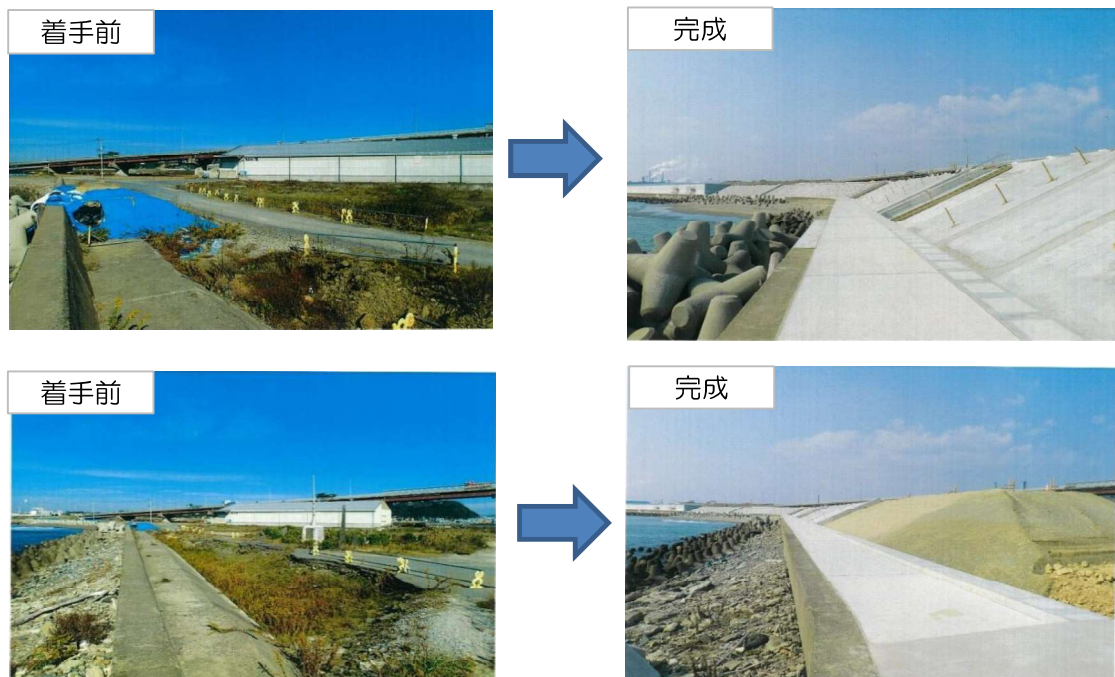


- ① 日和地区防潮堤工事 【仙台塩釜港(石巻港区)】
H31年3月完成 T.P+3.5m 施工延長1241.8mの内704.0m完成



日和地区に整備された防潮堤

- ② 東浜防潮堤災害復旧(その3)工事 【仙台塩釜港(石巻港区)】
H31年3月完成 T.P+7.234m 復旧延長1,527.5mの内934.7m完成



東浜地区に整備された岸壁

地方港 復旧・復興工事(防潮堤等)の状況

- ① 小積防潮堤外災害復旧工事【荻浜港】
 H31年3月完成 小積地区：T.P6.0m 復旧延長510.4mの内462.7m完成
 荻浜地区：T.P6.0m 復旧延長462.4mの内371.2m完成



- ② 横浦陸閘・水門外災害復旧工事【女川港】
 H31年3月完成



「石巻港探検ツアー」を開催

工業港として発展してきた石巻港の歴史と港の役割や隣接する企業を見て学ぶ「石巻港探検ツアー」（主催：石巻港整備・利用促進期成同盟会）が令和元年8月6日（火）に開催され、石巻市内及び東松島市内の小学5・6年生とその保護者の皆さんに参加いただき、当所も講師として参加しました。



国土交通省の業務艇「ひより」に乗船し、海からの港内見学をしながら国土交通省と当所から石巻港の概要について説明をしました。

富山県の派遣職員が交代

富山県から応援をいただいていた自治法派遣職員の浦山さんが令和元年9月30日離任されました。地方港を中心に防潮堤の復旧・復興のために貢献していただきました。また、令和元年10月1日からは山田さんが着任されました。4月1日に着任した正保さんと共に職員一丸となって復旧・復興事業の令和2年度の完了に向け、邁進してまいります。



離任された 浦山さん



着任された 山田さん

編集後記

令和元年も残りわずかとなりました。令和2年は、引き続き復旧・復興事業の総仕上げに向けて全力で取り組むとともに保安の確保にも一段と力を入れてまいります。



編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

住所：〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話：0225-95-6271

FAX：0225-95-6273

E-MAIL：iskown@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>